

図 2-4-2 ②

土壤動物調査地点図

N-2 区(第 2 回・静岡県)



图 2-4-2 ③  
土壤動物調查地点图  
N-3 区(第 2 回・静岡県)



表 2-4-1 土壌動物調査の詳細（静岡県）

項目	第1回			第2回		
	N-1	N-2	N-3	N-1	N-2	N-3
調査地点	N-1	N-2	N-3	N-1	N-2	N-3
地点数	2*	1	2	1	1	1
サンプル数	2**	2**	2**	3	3	3
植生	アカマツ ー常緑広 葉樹林 草地	常緑広葉 樹林	落葉広葉 樹灌木林 ヒノキ壮 齢人工林	アカマツ ー常緑広 葉樹林	常緑広葉 樹林	ヒノキ壮 齢人工林
調査日	1992.2.16			1997.10.13		
調査手法	<p>調査要綱に従い、プロットの大きさは 50cm×50cm とし、落葉層と 10cm までのサンプルを別のビニール袋に採取した。</p> <p>採取したサンプルは全紙サイズのスチレンスバットに広げ、まず 5mm のメッシュでふるい、別のバットに広げ、通過した物としないものそれぞれから目視により動物をピンセットまたは吸虫管により採取し、80% メタノールに保存した。次に 2mm メッシュのふるいを用い、同じ作業を繰り返した。この作業をそれぞれのサンプルごとに 2 回繰り返した。</p> <p>採取した動物は実体顕微鏡下で種の同定を行った。</p>			<p>細かい調査手法については記載されていないため不明。</p>		

注1：表中\*で示した第1回調査の調査地点N-1は、地点数が2となっているが、1地点はN-1地域の範囲外で、N-1地域に隣接する地点である。

注2：表中\*\*で示した第1回調査のサンプル数は、プロットごとに1サンプルをとったととらえ、2サンプルとした。

## 2-4-2. 第2回調査結果

第2回調査の結果を表2-4-2①～表2-4-2③に示した。

N-1地点（アカマツ-常緑広葉樹林）では、Aの分類群が3サンプル全体で6株、同様にBの分類群が9株、Cの分類群が7株確認され、その他の分類群としてガガンボ、鱗翅目の蛹、ユスリカ、ハチ、センチュウなどが確認された。3つのサンプルでは評点の最大が39、最小が34で、平均すると36.7と、調査地点中最も評点が高かった。

N-2地点（常緑広葉樹林）では、Aの分類群が3サンプル全体で3株、Bの分類群が6株、Cの分類群が6株であり、その他の分類群としてガガンボ、ユスリカ、ハチ、センチュウなどが確認された。平均的に確認種数が少なく、3つのサンプルでは評点の最大が25、最小が22で、平均すると23.7と、3つの調査地点中最も低い値であった。

N-3地点（ヒノキ壮齢人工林）では、Aの分類群が3サンプル全体で6株、同様にBの分類群が8株、Cの分類群が5株確認され、その他の分類群として鱗翅目の蛹とハチが確認された。3つのサンプルでは評点の最大が34、最小が25で、平均すると29.3であり、3調査地点の中間的な値であった。

表 2-4-2 ① 土壌動物調査結果 N-1 地域(第 2 回・静岡県)

様式 5-1

重点モニタリング地域番号 N-1

調査地域番号 1

調査年月日 1997 年 10 月 13 日

調査者 鳥居春己

		枠					枠		
		1	2	3			1	2	3
A 5 点	アリヅカムシ				C	アリ	○	○	○
	イシミ					クモ	○	○	○
	オムカゲ			○		ダニ		○	
	コムカゲ	○			1	ダンゴムシ	○		
	ザトウムシ					トビムシ	○		○
	ジムカゲ	○	○	○		ハエ・アブ (幼)	○		○
	ヒメフナムシ				点	ハネカクシ		○	
ヤスデ	○	○	○		ヒメミスズ				
ヨコヒ	○	○			カガクシ		○		
陸貝			○	そ	鱗翅目 (蛹)			○	
B 3 点	アザミウマ				の	ユスリカ		○	
	イシムカゲ			○		ハチ	○	○	
	ガ (幼)				他	センチュウ	○	○	
	カニムシ								
	カメムシ	○							
	甲虫	○	○						
	甲虫 (幼虫)		○	○					
	ゴムシ								
	シロアリ		○	○					
	ゾウムシ		○	○	点	A	4	3	4
	ナガコムシ				数	B	4	5	5
	ハサミムシ	○			の	C	5	4	4
	ミスズ	○	○		計	枠点数計	37	34	39
ワラジムシ			○	算	総合計 (平均)	36.7			

表 2-4-2 ② 土壌動物調査結果 N-2 地域(第 2 回・静岡県)

様式 5-1

重点モニタリング地域番号 N-2

調査地域番号 2

調査年月日 1997 年 10 月 13 日

調査者 鳥居春己

		枠					枠			
		1	2	3			1	2	3	
A 5 点	アリヅカムシ				C 1 点	アリ	○	○	○	
	イシミ					クモ	○		○	
	オオムカデ					ダニ			○	
	コムカデ					ダンコムシ				
	サトウムシ					トビムシ		○		
点	ジムカデ	○	○	○	点	ハエ・アブ(幼)	○			
	ヒメフナムシ					ハネカクシ			○	
	ヤステ		○			ヒメミス				
	ヨコエビ	○		○		そ の 他	ガガンボ		○	
	陸貝						ユスリカ	○		
B 3 点	アザミウマ				点 の 他		ハチ		○	○
	イシムカデ	○	○				センチュウ			○
	ガ(幼)						点 数 の 計 算	A	2	2
	カニムシ					B		4	4	3
	カメムシ			○		C		3	2	4
甲虫	○	○	○	枠点数計	25	24		22		
甲虫(幼虫)		○	○	総合計(平均)	23.7					
点	ゴミムシ									
	シロアリ									
	ゾウムシ									
点	ナガコムシ									
	ハサミムシ									
	ミス	○	○							
ワラジムシ	○		○							

表 2-4-2 ③ 土壤動物調査結果 N-3 地域(第 2 回・静岡県)  
様式 5-1

重点モニタリング地域番号 N-3

調査地域番号 3

調査年月日 1997 年 10 月 13 日

調査者 鳥居春己

		枠					枠			
		1	2	3			1	2	3	
A 5 点	アリヅカムシ				C 1 点	アリ	○		○	
	イシミ					クモ		○	○	
	オオムカデ		○	○		ダニ	○			
	コムカデ	○				ダンコムシ		○		
	ザトウムシ					トビムシ				
	ジムカデ		○	○		ハエ・アブ(幼)				
	ヒメフナムシ					ハネカクシ		○		
	ヤステ	○		○		ヒメミス				
B 3 点	ヨコエビ	○		○	そ の 他	鱗翅目(蛹)			○	
	陸貝			○		ハチ		○		
	アザミウマ					点 数 の 計 算	A	3	2	5
	イシムカデ		○	○			B	4	4	4
	ガ(幼)						C	2	3	2
	カニムシ	○					枠点数計	29	25	34
	カメムシ	○				総合計(平均)	29.3			
	甲虫	○		○						
	甲虫(幼虫)		○							
	ゴミムシ			○						
シロアリ										
ゾウムシ										
ナガコムシ										
ハサミムシ	○									
ミス	○	○								
ワラジムシ		○	○							